

まちのニュースは、町内の主な出来事をお知らせするページです。

まちのニュース

TOWNS NEWS

まちづくりを考える

11/26 町民会館

幕別町手づくりのまち推進委員会が主催する「第38回明るいまちづくり住民大会」が開催され、約120人が参加しました。

今年は、せせらぎ薬局(札内北栄町)を運営されている薬剤師の吉岡信之さんが、「薬との上手なつきあい方」について講演しました。

講演後は「アマービレクインテット」によるミニコンサートも行われ、「あまちゃんオープンニングテーマ」「真っ赤な太陽」など、誰もが楽しめる6曲を演奏。会場と一体となった心和む演奏に、参加者は楽しいひとときを過ごしました。



にれの子池を公園に

11/25 白人小学校

白人小学校横の「にれの子池」を、児童の憩いの場所として利用できるよう整備した樋渡敦さん(菊池建設工業(株)社長)、菅野喜一さん(菅野設備社長)、来海真起さん(パークプランニング(株)社長)に町と小学校から感謝状が贈呈されました。同校児童会長の加藤翔太君(6年)が「にれの子公園を大切に使います」とお礼を述べました。



ココロは短大生♪

11/25 大谷短期大学

しらかば大学の札内校・幕別校・南幕別校が合同で帯人大谷短期大学の1日体験入学を行いました。田中学長による講演後、校内の介護実習室や図書館を見学しました。

参加者は「若い人たちと学校内を歩くことができ若返った気分」と笑顔で話していました。

誰もが長寿の喜びを…

12/3・4 笹井ホテル

幕別町老人クラブ連合会よしごきずみきあろ(吉崎澄三郎会長、正会員2462人)の創立50周年記念式典・祝賀会が笹井ホテルで開催されました。約90人の参加者は、同会顧問の藤田和子氏の講演や実践発表などを通じて半世紀にわたる活動の歴史を振り返りながら、会員同士の交流を深めました。



公民館まつり 芸能発表



地域のふれあいまつり

12/7 糠内公民館

糠内・駒畠地域が一体となった「公民館まつり」が開かれ、保育所園児のお遊戯や小学校児童らの楽器演奏などが披露されました。

よさこいや大抽選会、もちまきなど、多彩な催しが行われ、参加者は地域が一体となった温かいお祭りのひとときを楽しみました。

手づくり門松で新年を

12/12 百年記念ホール

猪谷美雪さんいのたにみゆき(株イノタニ)を講師に招き、手づくりのまち推進委員会主催のミニ門松講習会が開かれました。参加者は猪谷さんからアドバイスを受けながら真剣な表情で松や梅の飾りをバランスよく配置し、高さ約40cmのミニ門松を完成させました。



冬の夜空に彩り灯る^{とも}

12/13 幕別パークプラザ前広場

幕別町商工会主催のイルミネーション点灯式が行われ、親子連れなど約250人が参加しました。午後5時、カウントダウンで約5000個の電球に明かりが灯ると参加者からは「きれい!」と歓声が上がりました。イルミネーション点灯期間は2月28日まで日没～午前0時の予定です。

息の合ったショーを披露

11/15 忠類コミュニティセンター

忠類芸能チャリティショーが開催され、文化協会加盟サークルによる歌や舞踊など趣向を凝らしたステージが披露されました。

会場に設置された募金箱には来場者からたくさんの善意が寄せられ、収益金53,729円が社会福祉協議会に寄付されました。



給食に感謝をこめて

11/25 忠類学校給食センター

忠類小学校の2年生24人が食育授業の一環で給食センターを訪れ、調理の様子などを見学しました。児童たちは自分の体よりも大きな鍋やしゃもじにびっくり。給食にかかわる人たちの大変さや気持ちを学んだ後、調理員さんと一緒に大好きな給食を楽しみました。

選ばれ続ける忠類へ

11/27 忠類コミュニティセンター

和歌山大学観光学部による地域活性化事業の成果報告会がインターネット中継を結んで行われました。平成26年9月に忠類地域に滞在以降、観光について調査研究を進めていたもので地域の魅力や欠点を確認し、活性化へのさまざまな提案がされました。



もちつきで世代交流

12/6 ふれあいセンター福寿

幕別町社会福祉協議会主催の「ふれあいもちつき大会2014」が開催されました。もちつき体験では小さな子どもにつき手にタイミングが合わず、ベテランの相の手があせる場面もあり訪れた人たちは終始笑顔。つきたてのおもちを食べようと長い行列ができました。